

「あいさつ」と現実

樺澤 奈歩美

『核兵器によってもたらされた広島、長崎の惨禍は、決して繰り返してはなりません。我が国は、引き続き非核三原則を堅持しながら、唯一の戦争被爆国として、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力をたゆまず続けます。』

これは、2023年8月6日に「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式あいさつ」として貴殿が述べたものの抜粋です。

私には、貴殿が何を考え、この「あいさつ」を述べていたのか、わかりません。そして私には、広島、長崎市民が、被爆者が、被爆2世、3世が、また日本国民が何を考え、この「あいさつ」を聞いていたのかも、わかりません。ただ私には、ある点から、この「あいさつ」が現実には、ひどく不確かなものであることがわかりました。

それは、この「あいさつ」に貴殿の行動が伴っていない、という点です。

まず、「核兵器によってもたらされた、広島、長崎の惨禍は、決して繰り返してはなりません」という部分です。「核兵器による惨禍」を生み出したのは他ならぬ戦争です。つまり、「惨禍を決して繰り返してはならない」のは戦争を始めた「日本」であるはずですが。しかし貴殿は、2022年11月に「防衛費を国内総生産(GDP)比2%に増額する」ことを、また同年12月には「防衛費の総額を43兆円とする」ことを発表しました。日本の防衛費は、他国の軍事費と同じであり、戦争の準備を進めるための費用であると言っても過言ではありません。つまり貴殿は、「あいさつ」では戦争を「決して繰り返してはなりません」と言いながら、現実では戦争を繰り返すための準備を進めているのです。

次に、「非核三原則を堅持しながら」という部分です。貴殿は、2022年4月に東京新聞から、非核三原則を法制化する考えがあるかと質され、必要はないと考える、と答えました。どうして法制化もせずに「非核三原則を堅持しながら」と言えるのか、私にはわかりません。非核三原則は非常に大切な宣言ではありますが、宣言を法制化してこそ、日本の平和主義をより確かなものにできると考えるのは、私だけではないと思います。

そして、「唯一の戦争被爆国として」という部分です。

『我々の安全保障政策は、核兵器は、それが存在する限りにおいて、防衛目的のために役割を果たし、侵略を抑止し、並びに戦争及び威圧を防止すべきとの理解に基づいている。』

これは、貴殿が冒頭の「あいさつ」を述べた日に「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」として貴殿が発出したものの抜粋です。ここから、貴殿が核抑止論を掲げていること、またアメリカによる核抑止力を肯定していることがわかります。つまり貴殿は、「あいさつ」では日本を「唯一の戦争被爆国」と認識しながら、現実では日本を「唯一の戦争被爆国」たらしめたアメリカの核の傘の下に置いているのです。

最後に、『核兵器のない世界』に向けた努力をたゆまず続けます」という部分です。貴殿は、冒頭の「あいさつ」を述べた日、平和記念式参列後、被爆者団体の代表の方々から核兵器禁止条約の締結を求められました。しかし貴殿は、同条約に参加していない核兵器国を条約にどれだけ近付かせることができるか、具体的な取り組みとして求められる、と答え、日本が同条約を締結することはない、という姿勢を示しました。どうして「核兵器のない世界」の実現には必要不可欠とさえ思われる同条約を締結しないのか、私にはわかりません。また同年11月に「核兵器禁止条約に関する内閣総理大臣への要請」として広島市長である松井一實氏、長崎市長である鈴木史郎氏が公開した要請文に応えることは、日本の内閣総理大臣という立場にある貴殿がすべきことであると思います。

以上から、この「あいさつ」に貴殿の行動が伴っていない、という点を理解して貰えたかと思いません。

私には、貴殿の言行不一致がわかりません。「あいさつ」と現実の不一致がわかりません。「あいさつ」は「あいさつ」に過ぎないということでしょうか。

なぜ決して繰り返してはなりませんと言いながら、防衛費を増やし、戦争の準備を進めるのでしょうか。なぜ非核三原則を堅持すると掲げながら、同条約の法制化は必要ないと考えるので

しょうか。なぜ日本が唯一の戦争被爆国であるという認識を持ちながら、日本をアメリカの「核の傘」の下に置くのでしょうか。なぜ「核兵器のない世界」の実現に向けたたゆまざる努力は、核兵器禁止条約の締結に結びつかないのでしょうか。

貴殿が他ならぬ日本国憲法を蔑ろにしているためではないかと、私はわからないなりに考えました。ひいては日本の平和主義を、そして平和主義を掲げるに至った日本の歴史を蔑ろにしているためではないかと考えました。

日本の第101代内閣総理大臣である、岸田文雄氏へ

私はここに貴殿の言行不一致を弾劾するとともに、貴殿に対し、非核三原則の法制化、そして核兵器禁止条約の締結を求めます。